

社民党

川崎市議会議員候補

事実を見つめ、
人に寄り添う。

よしおか
たろう

吉岡
太郎



●プロフィール

1998年ドイツ生まれ。情報学修士（ミュンヘン工科大学）。2023年に帰国し大阪でアルバイトをしながらお笑いに挑戦するも挫折。2025年より東京のIT企業勤務のため川崎区に移住。

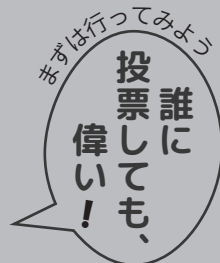
実体社民主義宣言

实体经济の効率を主な尺度とし、
科学的な認識に基づいて、
個々人の自由な幸福追求を
実現するための
論理的な政策の立案と
推進を目指します。

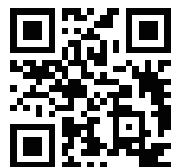
川崎市議会議員川崎区選挙区補欠選挙

投票日 10月26日（日）07:00-20:00

期日前投票 10/18（土）～10/25（土）



yoshioka-taro.jp



あなたの一票で 大改革！

…と言いたいところですが、

そう簡単に、すぐに、
思い通りには行かないものですよ。

綺麗な言葉、インパクトのある言葉に
「解決」が埋もれていく世の中は
少しずつ、卒業して行きたいです。

できない約束をしないため、
「ゆるがない理念」と「政策例」は
分けてお伝えします。

活動指針

- ① 現実を直視し、
- ② 鮮明な理想をかかげ、
- ③ そこから論理的に逆算して
実行します

ゆるがない理念

全部、市民。

民主主義では、一部の利害を叫ぶのではなく、
すべての境遇を想像する努力が必要です。誤情報
や差別には、教育や経済など、根本から挑みます。

建設的な議論

議論は、自分の意見を曲げる用意が前提です。
「勝つ」ことやプライドを目的としません。

yoshioka-taro.jp



政策例

人災をおこさない街、川崎へ。

物理的な設備による「防犯・防災」も大事ですが、最後は、人
間が難しい判断をしながら対応します。安全対策が形骸化した
り、言いづらいことを言えなかったりして、安全が脅かされな
いようにする仕組み（「公正文化」、「CRM」、「心理的安全性」など）
を取り入れ、市民の生活を守っていきます。

生活に資源を使う、健全な街、川崎へ。

令和6年度、市予算の8%以上にのぼった「公債費」。「公債」は、
資産ある人ほど、利子で儲かる仕組みです。ゼロである必要は
ありませんが、無責任に拡充を求めるばかりでなく、健全な財
政に目を向けることが、長期的な市民生活の安定の基礎となり
ます。

本質を見抜く力を養う。

- ・市立学校の質向上。受験戦争で
はない選択肢を作ってゆく。
- ・大人の学び直し支援。

働く人の味方であり続ける。

- ・労働相談を24時間体制化し、必
要な人に届ける。
- ・生活の基盤を支える人々に、正
当な対価を。

生活者の自由をつくる。

- ・途切れ途切れの自転車道を、生
活圏を結ぶ大動脈へ。